

## V-Campus 6<sup>th</sup> 更新

### － p4.メールシステム －

#### 1. 概要

p4. メールシステムでは、セキュリティ強化とバックアップ対策を主眼に構築を実施した。

V-Campus 5th Stage からの変更点は、アンチスパム・アンチウイルス対策を行っていたアプライアンス製品を無くし、クラウド固有のウイルス対策へ移行した。

新機能として、メール誤送信対策サーバー (Active !Gate) を導入。さらに、メールの送受信経路の見直しを行い、特定のシステムに負荷が集中しない構成とした。バックアップ対策としては、受信メールリレーサーバーをクラウド上に構築した。メールシステムは、競合ベンダーがなく 1 社の提案であり、要件を満たしていることから提案ベンダーに決定した。

#### 2. 更新のポイント

- (1). 迷惑メール (SPAM) 誤検知率の低下と、検知率の向上
- (2). メールシステム全般のセキュリティ強化
- (3). バックアップ対策 (クラウドの活用)

#### 3. p4. メールシステムのまとめ

今回の更新にて概ね目的は達成した。しかしながら、セキュリティ面においては、まだ改善の余地があると認識している。今後もセキュリティ強化とクラウド環境の活用を視野に検討していく。

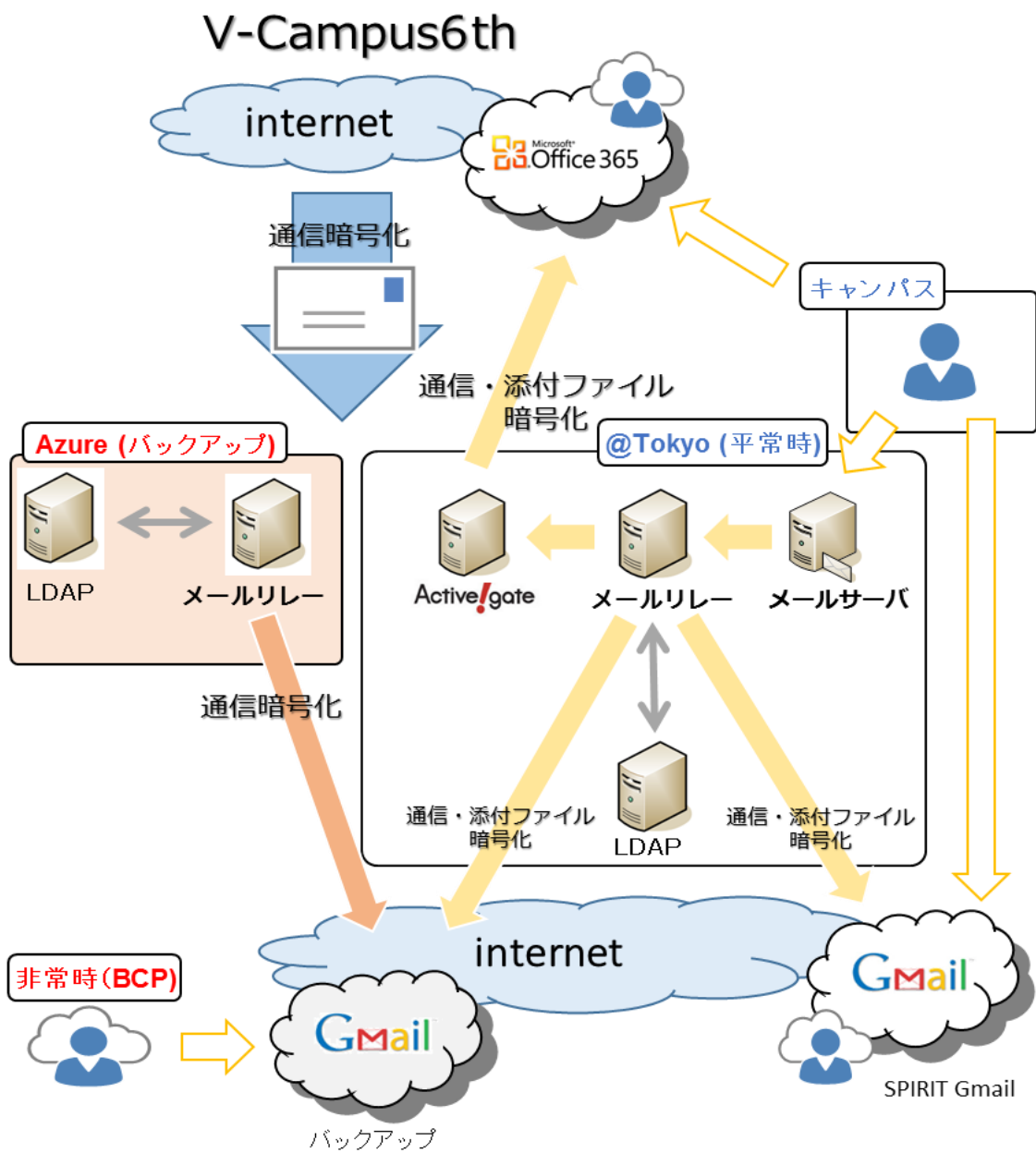


図 1 : メールシステム概要図